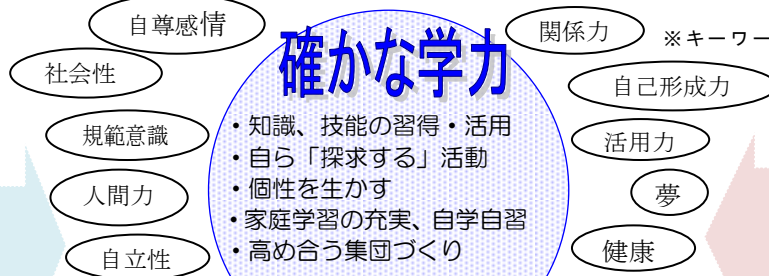


《小栗栖宮山小学校教育の目ざすもの》

～「今、そしてこれから」を生き抜く力を育てるため

子どもを取り巻く状況 (阻害要因)

- 《家庭教育力の低下》
 - ・核家族化・孤立した子育て
 - ・放任や過度の依存関係
 - ・経済的不安定
 - ・格差社会の進行
- 《個別社会の進行》
 - ・地域社会の崩壊
 - ・価値観の多様化
 - ・社会のデジタル・IT化
 - ・新自由主義・グローバル化
- 《育ちの内的問題》
 - ・自尊感情・自己肯定感の低下
 - ・コミュニケーション力の不足
 - ・規範意識、公共心の希薄化



子どもの現状・課題

- 【子どもを取り巻く緊急課題】
- ・虐待、育児放棄、
 - ・ケータイ依存・危険性
 - ・ゲーム、テレビ、メディア漬け
 - ・HIV等感染症、薬物問題
 - 【社会意識の喪失】
 - ・キレる子、こもる子
 - ・無関心、無意欲、モラル低下
 - ・いじめ、非行、反社会的行動
 - ・コミュニケーション未発達
 - 【希望の持てない社会状況】
 - ・ワーキングプア、リストラ
 - ・格差社会の拡大
 - ・「ゆめ」を描けぬ子ども達

家庭

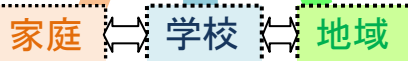
- 『育ちを支える家庭教育』
- ・基本的生活習慣の定着と心身の健康(早寝・早起き・朝ごはん・歯磨き)
 - ・家庭学習の充実
 - ・読書習慣の定着
 - ・地域活動やPTA活動への積極的参加
 - ・高め合う学校評価

地域

- 『地域ぐるみの子育て』
- ・学校運営協議会を核とした「新しい公共」の形成
 - ・さまざまな人と関わる地域活動、災害に備える地域
 - ・安心・安全なまちづくり
 - ・保幼小中(高)の連携
 - ・地域人材の開発・育成・活用とコーディネート

小栗栖宮山小学校教育

『教育は、願いであり、祈りである』



学校教育目標

やさしく たくましい心で 高め合い
『自己実現』をめざす宮山の子

「子どもをともに育む京都市民憲章」の実践・推進・発信

学校

- 『一人一人の豊かな学びを支援する教育』
- ・基礎的な知識・技能、学習ルールの習得
 - ・言語活動を重視した学習と、コミュニケーション能力の充実
 - ・自ら課題を見つけ、問題解決する力の育成
 - ・人権教育の深化(共に生きる力、自尊感情、規範意識、命を大切にする思いの醸成)
 - ・特別支援教育、健康教育、国際理解教育、環境教育、情報教育の実践的充実

学校取組

《こころ・からだ》

- ・フツ化物洗口の取組
- ・生活リズム調査実施
- ・「食育」の充実、豊かな給食取組
- ・SCの活用、児相等各機関との連携
- ・野外宿泊体験学習の充実
- ・おはようジョギング、持久走大会、大文字駅伝へ向けての取組
- ・部活動の充実のための学校体制
- ・地域セイフティネット活動との連携
- ・安全、携帯、非行防止教室等の実施
- ・放課後まなび教室の活用

《まなび》

- ・協力指導體制の継続と充実
- ・学力向上チームの具体的実践(ジョイプロ、実態調査の有効活用)
- ・研究会への積極的参画と校内取組へのフィードバック
- ・総合的な学習での「歯と口の健康」「英語活動」「福祉」「環境・地域」学習の充実
- ・児童の理解と実態把握のためのアンケートの実施と検証・評価

《みらい》

- ・自己実現につながる生活科、総合的な学習の充実
- ・生き方探究(キャリア)教育、生涯学習教育の意識化
- ・ボランティアの有効活用
- ・スチューデントシティへの参加と活用
- ・1/2成人式の実施
- ・地域交流事業への積極的な参加
- ・保育園、幼稚園、中学校との交流学习
- ・朝鮮学校、高校、地域 NPO 等との連携

《めざす子ども像》

- ・深く考え、自らすすんで学び行動する子
- ・自他を尊重し、優しい心で、力をあわせる子
- ・生涯にわたって自律的で健康的な生活が送れる子
- ・しっかりあいさつできる子
- ・社会の一員としてのきまりを考えられる子
- ・将来に展望が持てる子

《めざす教職員像》

- ・子どもの力を信じ、支え続ける教職員
- ・子ども一人一人を徹底して大切にする教職員
- ・子どもに夢と展望を与えるため自己研鑽に努める教職員
- ・チームワークで子どもを見守る教職員
- ・地域ぐるみの子育てを支える教職員